

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和4年（2022年） 3月 25日

作成者：（課名） 市民協働推進課

（氏名） 石谷 舞

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 豊かな自然を活かし、快適で安らぎのあるまちづくり
	【具体的な取り組み】 (2) きずぎの森の活用 ア 住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備
取組内容の関係課	政策推進課 施設マネジメント課

2 対話の状況

(1) 実施概要

ア 日時： 令和4年（2022年）3月25日（金） 午前

イ 場所： 市民協働推進課

ウ 出席者： 以下のとおり

＜まちづくり協議会＞



＜関係課＞

政策推進課 田外係長

＜市民協働推進課＞

石谷

(2) 確認できたこと

令和3年11月18日及び令和4年3月3日に、コミュニティひばり及び政策推進課・施設マネジメント課と実施した対話の内容について、コミュニティひばりより要望の一部撤回の申出があった。詳細は別紙のとおり。

市民協働推進課様
施設マネジメント課様
政策推進課様

第6次まちづくり計画(環境)について

2022年3月24日

各位

上記の「具体的な取り組み」における、

「(2)きずきの森の活用 ア 住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備」のうち

施設マネジメント課との対話における「満願寺方面からきずきの森に入る徒歩ルートの整備」を撤回する。

<理由>

本計画は2020年3月に確定しており、当時のきずきの森隣接地所有者は太陽光発電所建設計画を持つ(株)太陽設備だった。

これが建設されると長年住民が利用し続けてきたふれあい公園ときずきの森を結ぶルート(以降、谷筋ルートと称する)が埋め立てられてしまうため、コミュニティ・環境部会として全く新しい徒歩ルートの整備を「具体的な取り組み」として設定した。

しかし同年6月、太陽光発電所建設計画が中止となり当該土地所有権が地元の方に渡った。

そしてその後当該土地を市に寄付したい意向であることを知るに至り、従前の「谷筋ルート」に沿ったゆるやかな徒歩ルートの整備を要望することとした。

しかし、先日の施設マネジメント課との対話から「寄付申出者の当該土地について手をかけず、自然のままで残したいという強い意向がある」ことを確認したため、コミュニティ・環境部会は寄付申出者の意志を尊重し、この要望を撤回する。

当コミュニティとしても当該土地が市所有となり自然のままで残ることを強く希望しており、我々の要望が所有権移転交渉の障害になることがあってはならないと判断した。

尚これに関連して、「きずきの森内の車両通行への反対および駐車場の新設」について政策推進課と対話した際、コミュニティの統一見解ではないとしつつも、当該土地への駐車場の新設を要望したが、この要望も撤回するものとする。

しかし、これに代わる駐車場の増設について包括的な考えのもと関係各部署との対話の継続を要請する。

↑
きずきの森北



以上